日本中国考古学会 2016 年度大会・総会のご案内

日　程：2016 年 11 月 19 日（土）、20 日（日）

会　場：京都府立大学　稲森記念会館　２階
〒606-8522　京都市左京区下鴨半木町 1-5
京都市地下鉄 烏丸線 北山駅 １番出口より南へ 600m

参加費：大会資料代　1000 円（予定）

懇親会：11 月 19 日（土）　18：30 より
東華菜館（洛北店）　〒606-0835　京都市左京区下鴨神殿町 16−8
会費　一般 6000 円　学生 4000 円（予定）

※人数確認のため、懇親会にご出席の方は、11 月 5 日（土）までに、日本中国考古学会 2016 年度大会実行委員会事務局まで参加者氏名・連絡先をおしらせください。
【申込先】2016 年度大会実行委員会事務局（京都府立大学文学部　向井研究室）
〒606-8522　京都市左京区下鴨半木町 1-5
TEL/FAX：075-703-5269　　E-mail：mukai@kpu.ac.jp　（担当：向井佑介）

大会プログラム

【1日目】　2016 年 11 月 19 日（土）　一般発表

12：00　開場
13：00　開会挨拶
13：10〜16：00　一般発表

13：10〜13：40　内田　純子（台湾・中央研究院歴史語言研究所）
「殷墟孝民屯遺跡出土鋳型と時期区分」
13：40〜14：15　路　国権（山東大学歴史文化学院）
「論“上村嶺組銅器群”的年代下限及相関問題」（通訳あり）
（休　憩）
13：25〜15：00　曹　斌（中国人民大学歴史学院）
「西周青銅器紋様の抽象化と配列化」（通訳あり）
15：00〜15：30　張　成（西華師範大学歴史文化学院）
「巴蜀“人獣型”鎮墓俑の成立と展開」（日本語）
15：30〜16：00　江　介也（近畿大学・仏教大学非常勤講師）
「浙江地域六朝墓の画像塼 ―その変遷・地域性と墳墓観―」

16：10〜17：10　ポスターセッション（発表一覧は３頁参照）
17：15〜18：00　総会
18：30〜20：30　懇親会

【2日目】　2016 年 11 月 20 日（日）

シンポジウム「日本考古学の 100 年と中国考古学研究
—20 世紀前半の調査資料にもとづく新たな研究視角—」

【開催趣旨】 1916 年に濱田耕作が日本最初の考古学講座を開設してから、今年で 100 年がたつ。日本における黎明期の考古学研究は、大陸考古学の調査研究と密接な関係をもちながら進展した。一方、戦後 70 年以上をへて、中国考古学の調査と研究は飛躍的に前進し、そうした資料状況をふまえて過去の日本人による調査資料を再検討する試みが各地でなされてきた。とりわけ東京大学や京都大学などに所在する資料を対象として、現在の学問水準と最新の技術にもとづいて出土遺物が再整理され、また貴重な写真・映像資料の保存・整理・公開が進められている。過去の調査資料を最新の学問水準や現代の関心にてらして再検討することで何が明らかになるのか——20 世紀前半の調査資料を 21 世紀の考古学研究につなげることで、中国と日本の考古学にいかなる貢献ができるのかを考える機会としたい。

9：30　開場
10：00　趣旨説明
10：10〜12：00　シンポジウム（午前の部）

10：10〜10：55　講演①　岡村　秀典（京都大学人文科学研究所）
「京都大学所蔵中国考古資料の調査と研究」
10：55〜11：40　講演②　宮本　一夫（九州大学）
「日本人研究者による遼東半島先史調査と現在
—東亜考古学会調査と日本学術振興会調査—」
11：40〜12：00　資料紹介　大日方　一郎（國學院大學）
「鞍山中学旧蔵資料の整理と再評価」

12：00〜13：00　昼食
13：00〜16：00　シンポジウム（午後の部）

13：00〜13：35　報告①　中村　亜希子（奈良文化財研究所）
「三次元計測データに基づく瓦研究
—東亜考古学会による渤海上京城発掘資料の再検討—」
13：35〜14：10　報告②　渡辺　健哉（東北大学）
「常盤大定旧蔵資料の調査と研究」
（休憩）
14：20〜14：55　報告③　井上　直樹（京都府立大学）
「満鉄歴史調査部の旧満洲地域史跡調査」
14：55〜15：30　報告④　向井　佑介（京都府立大学）
「華北交通写真にみる日中戦争期の史跡調査」
（休憩）
15：40〜16：20　全体討論

16：30　閉会挨拶

【ポスターセッション】　11 月 19 日（土）　16：10～17：10

①久保田慎二（金沢大学）・小林正史（北陸学院大学）・孫国平（浙江省文物考古研究所 ）・王永磊（浙江省文物考古研究所 ）・中村慎一　（金沢大学）
「スス・コゲからみた河姆渡文化における煮沸器の使用痕研究」

②秦　小麗（金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター特任准教授）
「珠玉・管玉から見た中国東部地区の玉生産技術変化とその意義」

③鈴木　舞（東京大学東洋文化研究所・日本学術振興会特別研究員 PD）
「銘文鋳型製作法についての一試論 ―レプリカ法の導入―」

④大日方　一郎（國學院大學大学院生）
「西周時代の倣銅器に関する一考察」

⑤山本　尭（東京大学大学院生・日本学術振興会特別研究員 DC1）
「呉越青銅器研究序説 ―紋様から見た系譜関係―」

⑥坂川　幸祐（京都大学大学院生）
「蝶形牌飾の様相と地域間の関係 ―長城地帯を中心に―」

⑦川村佳男（九州国立博物館）・和田浩（東京国立博物館）・市元塁（東京国立博物館）・Dr. Roald Tagle（Bruker Nano）・水平学（ブルカー・エイエックスエス株式会社（Bruker AXS））
「蛍光Ｘ線分析と元素マッピングによる考古資料研究の新地平
―漢時代の鍍金銀銅刀を対象に―」

⑧馬渕　一輝（京都大学大学院生・日本学術振興会特別研究員 DC1）
「獣首鏡の系譜」

⑨脇山　佳奈（徳島大学大学院総合科学研究部・埋蔵文化財調査室）
「「紈扇」を持つ俑の考察 ―四川省・重慶市を中心として―」

⑩熊坂　聡美（筑波大学大学院生）
「雲岡石窟における天蓋龕について」

⑪黄　盼（京都府立大学大学院生）
「北魏時代の仏教と葬送」

⑫佐川　正敏（東北学院大学）
「中国宋遼金元代の軒平瓦の変革と東アジアからの考察」

⑬王　達来（龍谷大学大学院生）
「契丹駝車の考古学研究 ―壁画資料を中心に―」

⑭兪　莉娜（早稲田大学創造理工学研究科　建築史研究室）
「中国宋金時代の塼室墓にみる倣木構造の時代変遷について ―河南地方を中心に―」

⑮范　佳楠（北京大学考古文博学院博士研究生・東京大学考古学研究室特別研究生）
「新安沈没船の消費組成と未検討資料の性格 ―積載方式と日本消費遺跡の比較―」

【会場案内】

大会会場：京都府立大学　稲森記念会館　２階
〒606-8522　京都市左京区下鴨半木町 1-5
京都市地下鉄 烏丸線 北山駅 １番出口より南へ 600m

懇親会会場：東華菜館（洛北店）
〒606-0835　京都市左京区下鴨神殿町 16−8
TEL：075-722-3131